

VSW-MC-CTRL MediaCento IPX コントローラ設定手順

この手順書は、複数台の MediaCento-HDMI-HDIP トランスミッタとレシーバを使って、2x2 ビデオウォールの作成方法の基本を示す簡易説明書です。

手順の流れ

- 1) Settings ページ IP アドレス、パスワード変更（必要なら実施）
- 2) Hardware ページ 複数トランスミッタ/レシーバの検出と登録
- 3) Groups ページ ビデオウォール設定
- 4) Custom ページ トランスミッタ(ビデオソース)とレシーバの組み合わせ設定
- 5) Dashboard ページ 設定済みの複数シナリオの日常切り換えを実施

VSW-MC-CTRL の工場出荷時設定

IP アドレス: 192.168.10.10 Eth0 制御用 PC 接続用 背面右
: 169.254.1.1 Eth1 ビデオネットワーク接続用 背面左
Username: admin (変更不可)
Password: BBNSMediaCento

1) Settings ページ

System Mgmt の Settings を選択します。以下のページが表示されます。

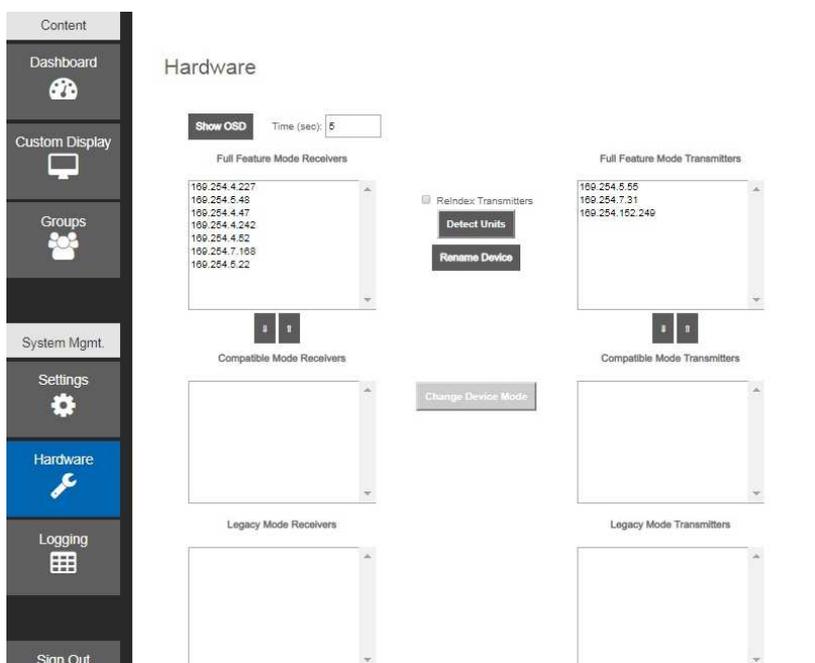


A/V Networks の IP Address は自動設定アドレスです。このネットワークに接続されるトランスミッタ/レシーバはこの自動設定アドレスを使っていて起動時に空いているアドレスを見つけ自分に割り当てます。但し、コントローラのアドレスは固定です。

このページで IP アドレス、パスワード変更が可能です。この説明書では、変更無しです。

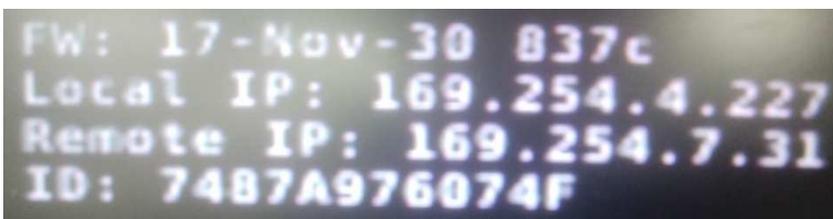
2) Hardware ページ

ビデオウォール作成には、ネットワーク上で稼働しているトランスミッタ/レシーバを検出して登録する必要があります。ここでは必要なトランスミッタとレシーバがすでにスイッチに接続され、コントローラからアクセスできることを前提にしています。



Detect Units ボタンをクリックすると、検索が始まります。検索終了まで約 30 秒かかります。左側にレシーバ、右側にトランスミッタが表示されます。必要なら Rename Device ボタンで IP アドレスを名前に変更することができます。この説明書は、変更無しで進めます。

物理的にどのボックスにどの IP アドレスが割り当てられたかを確認するには、レシーバの HDMI 出力にモニタを接続し、トランスミッタの HDMI ビデオソース入力コネクタをはずします。モニタの右下に以下の様にアドレスが表示されます。レシーバにモニタが接続されていることを前提にしています。



FW: Firmware 情報

Local IP: モニタが接続されているレシーバの IP アドレス

Remote IP: レシーバが接続しているトランスミッタの IP アドレス

ID: マルチキャストビデオストリームの識別番号

3) Groups ページ

このページで1台のトランスミッタに接続される複数台レシーバをグループ化してグループ名を付けることができます。

ここで2x2のビデオウォールを作成するため、検出した7台のレシーバから4台をグループ化し、Video Wallにチェックを入れます。

ビデオウォールに関する情報を設定できます。

Rows: 横方向モニタ数 Cols: 縦方向モニタ数 Bezel Width: ベゼルの幅 mm 単位

Monitor Height: 0 Monitor Width: 0 モニタの高さと幅 mm 単位

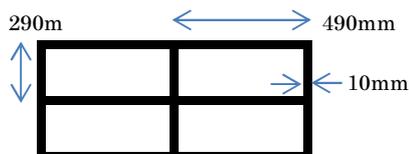
ベゼルとは、モニタの枠の幅です。実採寸の1/2に設定してください。

設定が終わったら、グループ名のタイトルを付けて Save Group ボタンをクリックします。ここでは上記通り全て0のデフォルトの Channel0 で保存して進めます。

2x2 ビデオウォール 290mm(高)x490mm(幅) ベゼル幅 10mm の場合の設定例:

Rows: 2 Cols: 2 Bezel Width: 10

Monitor Height: 290 Monitor Width: 490



参考のために Vezel5 の名前でグループ名とプリセットを作っております。

4) Custom ページ

このページでは、どのトランシーバに Channel0 レシーバグループを関連付けるかを設定します。

The screenshot shows the 'Custom Display' configuration page. The main area contains a table with the following data:

	169.254.5.55	169.254.7.31	169.254.152.249
169.254.4.227		Channel0	
169.254.5.48			
169.254.4.47			
169.254.4.242		Channel0	
169.254.4.52			
169.254.7.168		Channel0	
169.254.5.22		Channel0	
Channel0			

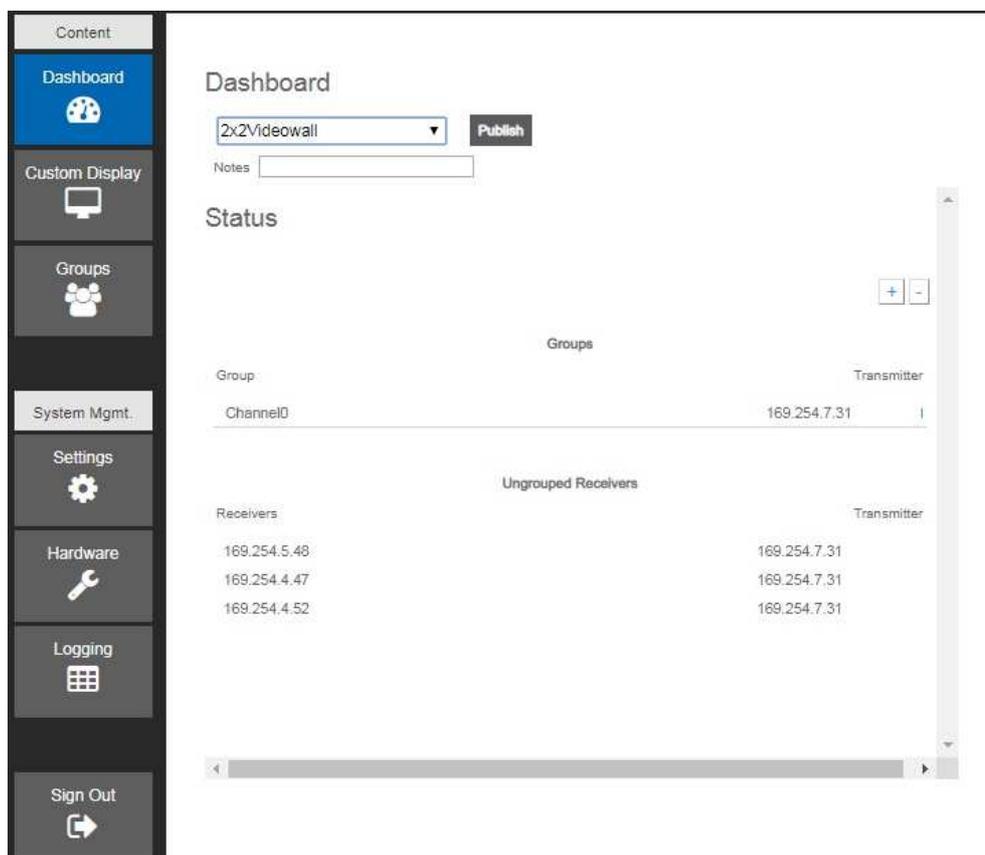
Below the table, there is a 'Presets' dropdown menu set to '2x2Videowall', a 'Notes' text input field, and a 'Delete Preset' button.

ここでは、169.254.7.31 のトランスミッタに Channel0 グループを引き当てる方法を説明します。Channel0 のグループと接続先トランスミッタがクロスしたセルをクリックする上記の画面になります。ここでは、Save as New Preset ボタンをクリックして 2x2Videowall の名前で保存しています。

ここで Switch ボタンをクリックすると、設定が反映され、指定したトランスミッタに接続されたビデオソース信号がマルチキャストされ、指定したグループのレシーバに接続されているモニタに映像が表示されます。

5) Dashboard ページ

Custom ページで複数のプリセットを作成してあると、日常の操作はトランスミッタ（ビデオソース）の切り換えをのみになります。ダッシュボードはその切り換え動作をプリセットの選択で行えるようにしたものです。コントローラの操作に不慣れなユーザでも簡単に切り換えをすることができます。



プルダウンメニューから、この説明では 2x2Videowall を選択し、Publish ボタンをクリックすると設定が実行されます。

Hardware ページから Detect Units を再度実行すると、Group 設定は解除されてしまいます。ご注意ください。

以上